

ぴあ・いろは通信



○放課後等デイサービス 放課後クラブぴあ

○児童発達支援 療育ルームいろは

《お問い合わせ》TEL 33-4860

明けましておめでとうございます。本年もよろしく申し上げます。進級、進学に備える時期になりました。生活の変化をイメージし、準備を始めましょう。お家の中の模様替え、変更について視覚的に伝えるカレンダーやスケジュールなど、相談がありましたらいつでもお声かけくださいね。

1月行事のご報告

1月6日から10日の一週間、書初めを行いました。ぴあ・いろはでは恒例行事になっています。いろはでは、自由に運筆し、勢いよく味のある作品が次々出来上がりました。年長さんは「ひらがなを書きたい！」子が多く、名前を書いたり、知っている文字を書きました。ぴあでは、手本が用意され、好きな文字を選んで書きました。今年は、《令和》を選ぶ子が多く、テレビで見た令和発表の一場面を再現して楽しんでいる子もいました。

手順書を見ながら、2枚書くことや台紙を選ぶことを知り、落ち着いて書いたり選んだりできました。何をすればいいか、どうなったら終わりかがわかると、取り組みが自立的になるなと感じました。



職員研修報告⑤《働く》

支援を受けながら働く大人になるためにそれぞれの時期に必要なポイント

《幼児期》

- ・視覚的な支援をベースに自発的に自立的に伝えられる表現性コミュニケーションを学ぶ。
- ・終了の概念の確立【なくなったら終わり、時間が来たら終わりなど】
- ・6つのルーティンを学び、実行できるようになる。

(①最初に〇〇次に△△ ②上から下に ③左から右に ④ワークシステムに従って
⑤終わったらスケジュールを見る ⑥変更をチェックする)

- ・自分に合ったスケジュールを活用する。
- ・遊び(暇をつぶせること)
- ・身辺自立

・社会性・社会的認識

(一人遊び→気づき・観察→接近→並行遊び→共有→順番交代→簡単なルール→社会的相互交渉)

・概念学習

・職業前行動の基礎

(一定の場所にいられる、一人遊びができる、ルーチンを理解して行動する、ご褒美を目あてに頑張る、自立移動、援助の要請)



ゆいねっと Study 倶楽部

1月20日(月)のStudy 倶楽部では、『支援体験』として、ぴあ・いろはで採用している支援シグやシステムを実際に体験していただきました。ワークシステムでは、課題を重ねて置き、上から順番に実施、右側に片づけていくことで、終わりの見通しを持ちながら机上を上手に使うことをお伝えしました。また、手順書を見ながらのゲームでは、初めて体験すること、初めてかわかる相手とでも、ルールが視覚的に明確なことで求められる行動ができ、安心して成功体験ができることをお伝えしました。また、スケジュール支援の大切さや PECS (絵カード交換式コミュニケーションシステム) を知っていただくこともできました。

ゆいねっと Study 倶楽部は、保護者だけでなくだれでも参加できる勉強会です。お友達や利用サービスのスタッフさんなど、ぜひ一緒に学びに来てください。お待ちしております。

【 今後の予定 】

2月 3日(月) 10:00~11:30 『自立課題の作成』

3月 2日(月) 10:00~11:30 『座談会~新学期に向けた連携~』

★詳しくは、ホームページにも記載しています。ご覧ください。



高校生ボランティアの受け入れ

ぴあ・いろはでは、冬休みに高校生ボランティアが来てくれました。障がい者福祉に興味があり、職場体験を希望する方を受け入れています。体験内容は、掃除や行事準備片づけ、対人ゲームの相手や遊びの見守り、構造化のお手伝いなどです。来所退所のあいさつや頼まれた仕事が終わったら報告することなど仕事の基本もお伝えしました。子どもたちは、職員以外のお兄さんやお姉さんとゲームをしたり遊んだりするときも、物理的構造化や視覚支援があることで、相手が誰でも適切に行動することができていました。今後も機会があれば、随時ボランティアを受け入れていく予定です。



【お知らせ】

★非常時の際の対応については、いつでもご覧いただけるよう入り口に設置してある【防災マニュアル】に掲載されています。ご覧ください。

★総合福祉センター3階ボランティアセンターでは、古切手の回収を行っており、ぴあ・いろはでも回収のお手伝いをさせていただいています。ぴあ・いろは入り口に古切手入れを設置しています。

★ゆいねっと新居浜 HP 内「BLOG」にて、ぴあ・いろはでの活動の様子を更新中です★
ぴあ・いろは入り口にぴあ通信・ブログ原稿を掲示しています。ぜひ、ご覧ください！

<http://yuinet-niihama.com/>

